

夏休みの活動報告 ～高校1年生～

◎ 青少年赤十字国際派遣事業

H.A.さん (D)



今回、国際交流事業として単純な観光ではなく、様々な角度からシンガポールという国を眺めることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。私は今回、初めて海外に行くという経験をしました。テレビや新聞、人の話などから間接的に海外を知るということはありましたが、実際に自分の目で確かめるのはこれが初めて。小さい頃から母親に言われていた、「実際に見てみなきゃ意味がない」という言葉を実感した1週間でした。

空港に到着した時から現地のユースの方が温かく迎えてくれました。不安と緊張でガチガチだった私にも笑顔で話しかけてくれ、少し落ち着くことができました。ユースの方はずっと「気づき、考え、行動する」をしていて、それもさっと当たり前のように行動していました。私は、幅広く素早く対応できることにとても衝撃を受けました。私の場合、いつも行動する前に、これでいいのか、迷惑にならないか、と遠慮してしまうというのに、シンガポールのユースメンバーはすぐに気づき、すぐに行動に移しています。この違いは何なのだろう、なぜ私はできないのだろうと考えさせられました。

1日目の午後、Crescent Girls' School を訪問した際、やはり日本とは違うものだなと思いました。洗足も女子高ですが、学校の雰囲気は勿論、女性の教育に対する姿勢やタブレットを利用した授業など、新しい発見が多かったです。その後、生徒との交流の時間、あちらから話しかけてくれ、うまく答えられないながらも笑顔で聞いてくれました。分からない事があればすぐ質問してくる姿勢を見て、うちの学校の講演が終わった後の空気と全然違うなと思いました。夕方のウェルカムパーティーではホストファミリーの Megan との初体面ということでドキドキしていて、食事の時も皆ほど話せず、不安でしたが、Megan も緊張していて途中で「話せなくてごめんね」と言ってくれました。でも、私も話のタネがなく、話が出来なかったので、ああ同じなんだなと思いました。

パーティーの後から3日目の朝までずっと一緒だった Megan。最初は何度も何度も聞き返す過ぎて、逆に「もういいよ。」と言われてしまう始末でしたが、聞いていくうちに耳が馴れたのか、しっかりと答えられるようになりました。ホストファミリー揃って日本が大好きで、日本の文化やJRC、今流行っていることなどを話しました。上手く言えない時は辞書の力を借りて、身振り手振りも交えて話しました。2日目のホームステイプログラムについても「行きたい所ある？」など話

のタネを作ってくれました。

ホームステイプログラムでは観光は勿論、その前に献血のイベントや募金活動をしている駅前に連れて行ってくれました。土曜日という事もあって、あちらこちらで違う募金の呼びかけをしていて、たくさんの方が募金していました。下を向いて、横を通り過ぎる日本とは大違いです。しかも、駅前では車いすの人が直接募金を訴えていて、間接的な日本よりも必要性が伝わるなと思いました。ホームステイプログラム中、気になることや疑問に思ったことがあればすぐに聞いていたのですが、その度に分かりやすくしっかりと説明してくれて、学習になりました。ホームステイをすることでシンガポールの家庭の一例を体感し、また交流することができました。

3・4日目は文化施設や美術館などの見学をし、観光に近いものでした。ただ、観光であれ、「なぜそこに連れて行ってくれたのか、裏を考えてみよう」と言われ、考えさせられました。日本とは違い、多民族が入り混じりながら作られているシンガポール。「『なぜシンガポールではたくさんの民族が仲良く生活できているのか』ということを考えながら見るように」と言われてから、意識していました。歴史にかかわるものを多く見て来て、この国は歴史を大切にしているように感じました。歴史博物館で質問をすると、とても分かりやすく、詳しく説明してくれて、そのように感じました。

5日目の午前中に行った血液バンクですが、私は日本の血液事業に関する知識が少なかったため、違いなども比較することができませんでした。それはとても残念でしたが、シンガポールを知ったからこそ日本のことも学びたくなり、これは赤十字理解への前進でいいと思いました。

午後は Singapore Chinese Girls' School を訪問して、1日目に訪れた Crescent Girls' School との校風の違いにびっくりしました。明るく自由な校風の Crescent Girls' School と違いました。Singapore Chinese Girls' School は厳格で、社会に有為な女性を作り出すような校風と正反対のような学校を見学する事ができ、とても勉強になりました。私の学校はちょうど中間くらいなので、より比較しやすかったです。ユースの活動に参加させてもらい、私の学校がどれだけ JRC の活動をしていないかを思い知りました。救急法はもちろん、理念など、英語であったことも影響してか、ほとんど自発的に動けず、指示をしてもらって動いていました。もっともっと勉強しなければと思いました。Crescent Girls' School の時は移動中にほとんど話ができませんでした。今回はどんどん話しかけ、また質問され、充実していました。

シンガポールでの6日間を通して、自分の認識不足を思い知りました。赤十字の活動に対してもそうですが、それだけではなく日本文化や歴史、学校など身近なものも浅くしか知らないのに、十分と思っていました。これはとてももったいないです。自分で自分の限界を決めてしまっ。上に行こうとあまり努力せず、今回、自分の目でしっかりと確認してきたことによって刺激を受けました。私はまだまだ知り、学ぶことが沢山あります。

今回、シンガポールに行ったことで沢山の事を知り、感じ、考え、吸収しました。このこと全てを言葉で伝えるのは不可能だと思います。表面的な薄っぺらいことだけでなく本質的な事もしっかりと周りの JRC メンバーや学校の生徒に出来る限り伝えます。そして、伝えて終わりではなく、自分の活動に取り入れつつも新しい発見をし、また後に続く人が出るようにします。このような体験をさせていただいた顧問の先生や校長先生、赤十字の職員さん、シンガポールのメンバー、両親に感謝したいと思います。

◎ イギリス研修参加

報告者：M.N.さん (D)

F.R.さん (C)・M.N.さん (D)・T.R.さん (F)

7月20日～8月4日まで、イギリスでの研修に参加しました。

2週間弱の間、ケンブリッジでホームステイをし、毎日スタジオ・ケンブリッジという学校に通って、たくさんの海外から来た生徒たちと一緒に授業を受けました。イギリスの文化に触れることが出来たのはもちろんですが、イタリアやロシアなどの他の海外からの留学生たちとも交流できたので、世界中の文化を知ることができました。とても充実した2週間でした。

◎ Life is Tech !

I.S.さん (A)、T.S.さん (A)、A.H.さん (B)

windows8 アプリ開発コース (報告者 : T さん)

括弧をひとつ忘れただけでエラーがおこってしまい、さらにコードを何百行か打っていたため、間違いを直すのも大変でした。しかし、最後には自分でアレンジできるようになり、背景がハリー・ポッターの電卓アプリを作ることが出来て嬉しかったです。



Web デザインコース (報告者 : I さん)

My ホームページを作成しました。コードの書き換えが、一文字でも間違えると全てくるってしまったりして大変でしたが、開発はとても楽しくてもう一度行きたいと思いました。

Android アプリ開発コース (報告者 : A さん)

もともとプログラミングに興味があり、自分が Android を持っていたので申し込んでみました。このキャンプでは、時計アプリやWEBにつながるアプリなどを作りました。いままでは未知の領域だったプログラミングでしたが、メンター (スタッフ) さんのおかげもあり、とても身近に感じる事ができました。今度は自分で勉強して、ゲームなどを作りたいです。

◎ Best Delegate Summer Program Boston Harvard University

S.M.さん (C)

5日間で、国連についての説明や、スピーチ・プレゼンテーションについての講義、それらの実践。そして模擬国連のシミュレーションなど盛りだくさんでした。毎日宿題が出て、次の日には議題について与えられた国の立場からポジションペーパーというものを書き、夜の9時までに提出しなければなりません。子供兵士・気温変化・無人航空機などの問題についてのレゾリューションを考えたりして、学ぶことがとても多かったです。最終日には、修了証の他に、「Diplomacy Award」というものをいただきました。

H.S.さん（C）、F.S.さん（D）、H.Y.さん（F）

日本・海外から集まった、計 186 名の高校生と共に、一流の講師陣の方の講義を受けて議論するという、ハードスケジュールな 2 週間でした。講師の方はもちろん、仲間の高校生からも刺激を受け、将来のことも真剣に考える毎日、とても充実していました。たくさんの学びの中で、議論の際のファシリテーターの大切さを特に痛感し、相手の思考を追って理解に努め、そして自らの考えを論理的に伝えることの難しさと重要性を体感しました。

この夏のリーダー塾での 2 週間を無駄にしないような 2 学期にしたいと思います。

